

# 陸前高田市の震災遺構等の概況

---

(第1回 高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会 資料)

平成27年9月4日

# 1. 公園内の震災遺構

出典:「陸前高田復興まちづくり情報館」展示パネル(陸前高田市)より

## 震災遺構の紹介

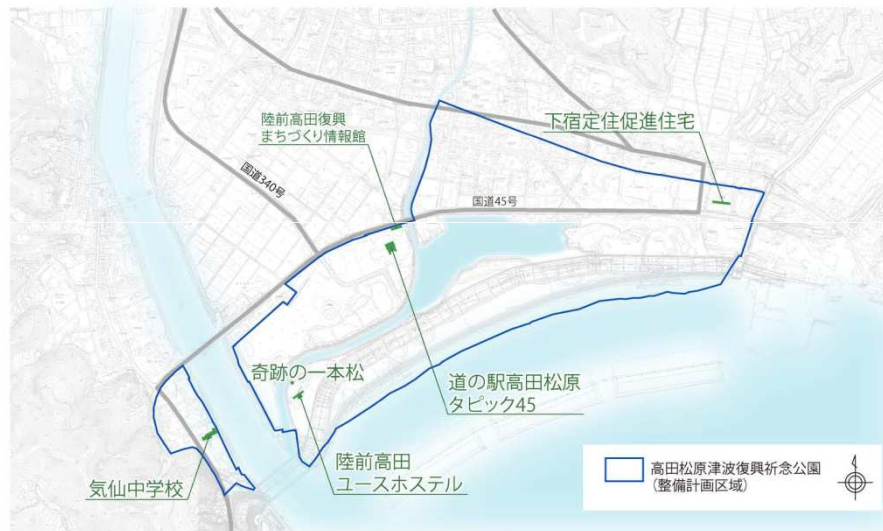
陸前高田市では、東日本大震災の記憶の風化を防ぎ、後世に教訓を伝承していくために、被災した建物等を「震災遺構」として保存することとしています。

震災遺構として残す建物は、「建物内に居た方で犠牲者がいないこと」、「かさ上げの予定区域でないこと」、復興まちづくりに支障がないことなどを前提とし、岩手県の設置した「高田松原地区震災復興祈念公園構想会議」の意見も参考に検討を行いました。その結果、「道の駅高田松原 タピック45」、「気仙中学校」、「下宿定住促進住宅」、「奇跡の一本松・陸前高田コースホテル\*」を震災遺構として保存することとしました。

これらの震災遺構は、いずれも「高田松原津波復興祈念公園」の整備計画区域内に位置することから、公園と一体となった保存・活用を検討していく予定です。

\*)一社団法人日本コースホテル協会所有施設で、同協会が保存に同意したものを。

### 震災遺構の位置



### 注 <見学にあたっての注意事項>

- 各施設の紹介に示した「見学方法」を必ず守って見学して下さい。
- いずれの施設も絶対に内部に立ち入らないで下さい。
- 付近では復旧・復興関連工事が行われていますので、立入制限区域内への立ち入りは避けて下さい。
- 車窓からの見学を行う場合は、周囲の往来に十分ご注意下さい。
- ※見学中の事故、盗難等のトラブルについては、一切責任を負いかねますので、ご注意下さい。

#### 【問合せ先】

陸前高田市 都市整備局 都市計画課  
岩手県陸前高田市高田町字鳴石42-5  
TEL 0192-54-2111

### 道の駅高田松原 タピック45



被災前のタピック45\*



「農業まつり」開催時の様子



「七こ七夕」の展示

#### 【タピック45の概要】

構造:鉄筋コンクリート  
延べ床面積:1,345㎡  
高さ:約19m

#### <見学方法>

本施設(陸前高田復興まちづくり情報館)前の駐車場内から見学して下さい。

#### ■「道の駅高田松原 タピック45」について

- 国道45号沿いに整備された、4ヘクトルを超える敷地面積を誇る東北地方随一の道の駅でした。
- 農・水産物の直売施設や、七夕の山車の展示等もあり、また、産業まつり等のイベントの会場としても利用されるなど、市内外を問わず多くの人々に親しまれていました。
- 「タピック45」は、道の駅のシンボル施設として、平成3年に建設されたものです。
- 特徴的な三角形の外観は、津波避難施設として海側からの登りやすさを考えたものです。
- 内部にはインフォメーションコーナー、けんか七夕の展示、喫茶コーナー等がありました。

#### ■被災状況

- 津波の直撃を受け、その高さは13.7mに達しましたが、浸水を免れた施設上部に登り、難を逃れた方も3人いました。
- 津波避難施設としての堅牢な構造を有していたため、建物本体の外観に大きな損傷は生じなかったものの、津波の圧力を強く受けた内部の壁面は大きく損傷を受けました。
- また、国道側に存在した増築部分は、跡形もなく流されました。
- 内部には高田松原から流されたマツの巨木が現在でも残されています。
- 公衆トイレ、折れ曲がった照明灯などの遺構も残されています。



被災後のタピック45\*



施設に記された浸水深 (T. P. 13.70m)



施設に漂着した漁具



著しく損壊した内部と漂着したマツの巨木(駐車場から観察可)

# 1. 公園内の震災遺構

出典:「陸前高田復興まちづくり情報館」展示パネル(陸前高田市)より

## 気仙中学校



被災前の気仙中学校の西面(左側は消失した体育館)。



被災前の気仙中学校の南面と運動場。

### <見学方法>

敷地内を含めて一切、立ち入りはできません。

お車の場合 国道45号の車窓から見学して下さい(駐停車不可)。

徒歩の場合 「奇跡の一本松・陸前高田コースホテル」の見学ルートから気仙川越しに見学して下さい。

### ■「気仙中学校」について

- 気仙中学校は、今泉地区・長部地区の生徒が通う中学校でした。
- 気仙川の河口付近にあり、3階建ての校舎東側からは、気仙川越しに高田松原や広田湾、さらには氷上山などの山々の雄大な眺めを楽しむことができました。

### 【気仙中学校の概要】

構造:鉄筋コンクリート3階建て  
延べ床面積:2,508㎡  
高さ:約12m  
竣工:昭和56年

### ■被災状況

- 市内でもかなり早い段階で津波が越流した地点で、津波が気仙川の堤防を越えてからわずか数分で校舎3階近くに達しました。
- 堅牢な構造であったため、建物本体に大きな損傷はありませんが、津波の圧力でバルコニーの腰壁は軒並み折れ曲がっています。
- また、津波の水流によって、建物基礎周辺がえぐりとられた箇所もあります。
- なお、震災当時学校にいた生徒達は、日頃の安全教育の成果を発揮し、津波到達前に全員避難し、無事でした。



被災後の気仙中学校の西面。



被災後の気仙中学校の南面(運動場は震災直後に工事関係場として利用)。



破壊された教室内



津波の冲击力により浸食された東側の基礎部



震災当時のまま残された板書



破壊された2階バルコニーの腰壁

## 下宿定住促進住宅



被災前の下宿定住促進住宅(左側の2号棟は被災後、復興事業に伴い撤去)。

### 【下宿定住促進住宅の概要】

構造:筋コンクリート5階建て  
延べ床面積:2,372㎡  
高さ:約14m  
竣工:昭和56年



被災後の下宿定住促進住宅(南面全景)



被災後の5階ベランダ部分



被災後の建物内

### ■被災状況

- 津波は4階を完全に水没させ、最上階(5階)の床上に達しました。
- その状況は、海側のベランダに設置されていた化粧パネルや窓が4階まですべて破壊されている状況からもよくわかります。

## 奇跡の一本松・陸前高田コースホテル



被災後のコースホテル。



被災後のコースホテルと奇跡の一本松。

### ■「陸前高田コースホテル」について

- 高田松原の中にあった宿泊施設として、青少年等を中心に親しまれていました。
- 玄関ホールを中心に左右に客室が伸びた美しい建物でした。

### 【陸前高田コースホテルの概要】

構造:鉄筋コンクリート2階建て  
延べ床面積:698㎡  
高さ:不詳  
竣工:昭和44年

### ■被災状況

- 建物は津波によって完全に水没しました。
- また、砂地であった地盤がつかないで大きくえぐられたため、建物の東半分が折れ曲がるように破壊されました。
- 奇跡の一本松は、陸前高田コースホテルの建物があったため、残ることができたともいわれています。

※震災当時休業中であったため、施設は無人でした。

### <見学方法>

奇跡の一本松見学ルートを利用して見学して下さい。



# 2. 陸前高田復興まちづくり情報館



## 陸前高田復興まちづくり情報館

**【開館時間】 9:00～17:00**

※施設管理等の都合上、やむを得ず変更・休館させていただく場合がございます。

**【所在地】 旧道の駅高田松原 (タピック45前)**

◆年中無休・入館無料◆

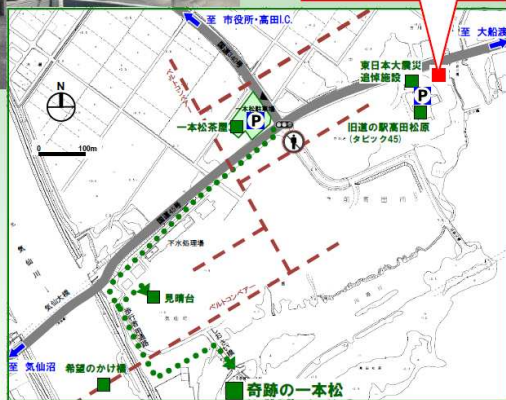
被災地の復興に向けて、多くの皆さまからたくさんのご支援をいただき、ありがとうございます。

「陸前高田復興まちづくり情報館」は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた陸前高田市における復興事業やその進捗状況などを紹介するために設置したものです。

陸前高田市の今、そして未来の姿をご覧ください。



陸前高田復興まちづくり情報館



■お問い合わせ  
陸前高田市都市整備局都市計画課  
(電話：0192-54-2111)  
※係員は常駐しておりません。



当館周辺は、過去の津波の浸水区域です  
地震が起きたら、ただちに高台へ避難して下さい

### 展示スペース

○テーマに沿った、70点以上のパネルを展示しています。  
○被災前の陸前高田市や、市の被災状況、復旧・復興に向けたさまざまな取り組みまで、写真や図面、地図等も豊富に用いて紹介しています。  
※展示内容は、事業等の進捗にあわせて随時更新していきます。



- パネル展示テーマ**
- [A] ～フロローグ～  
陸前高田・かつてそこにあったまち
  - [B] ～あの日を忘れない～  
まちを襲った津波の記録
  - [C] ～すべての方々に感謝～  
市にさしげられた救助・復旧
  - [D] ～復興に向けて～  
陸前高田市復興計画
  - [E] ～がんばっぺし!①～  
住宅再建・市街地復興事業の紹介
  - [F] ～がんばっぺし!②～  
さまざまな災害復旧・復興事業の紹介
  - [G] ～がんばっぺし!③～  
被災地におけるURの取り組み
  - [H] ～がんばっぺし!④～  
復興に向けた市民の取り組み
  - [I] ～あがらせ～  
陸前高田の“今”を紹介  
(平成26年8月6日現在)



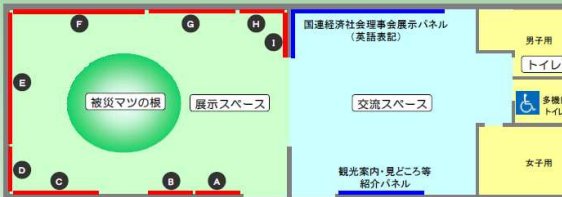
### 被災マツの根

○フロアの中央には、本館のシンボルとして、高田松原から掘り起こした被災マツの根をダイナミックに展示しています。



### 交流スペース

○休憩、学習、待ち合わせなど、どなたでもご利用いただける多目的のスペースです(ただし施設開館時間内に限る)。  
○また、市内の見どころや飲食店、語り部等を紹介するパネルも展示しています。  
※長時間の占有、他の利用者の迷惑になる行為、営利活動などはご遠慮ください。



### 出入口



### スロープ

○舗装駐車場とスロープを設置しておりますので、車椅子でも安心してご利用いただけます。



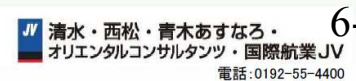
### トイレ

○多機能トイレも備えた水洗トイレです。  
○施設見学者以外もお気軽にご利用ください(ただし施設開館時間内に限る)。



○館名表示は、被災した高田松原のマツから切り出した一枚板を使用し、県立高田高校書道部の生徒に書いていただきました。

### 設置・管理主体



## 2. 陸前高田復興まちづくり情報館

### ■ 入館者数

平成27年1月11日～8月19日までの、221日間

: 合計 **81,790人** (平均 **370人/日**)

平成27年8月10～12日の3日間

: **平均 950人/日**

出典: 陸前高田市資料(自動計測器によるカウント結果)

# 【参考】公園周辺における震災遺構の概況



B-04: 砂畑地区街路遺構



B-02: 砂畑路切



B-01: JR路線敷



B-01: JR路線敷



B-03: 松原路切



C-08: JR長砂橋梁



C-09: JR小泉川橋梁



B-04: 曲松地区街路遺構



C-07: JR川原川橋梁



C-07: JR川原川橋梁



C-10: 並杉橋



C-08: JR長砂橋梁



C-09: JR小泉川橋梁



C-02: (仮)住宅入口橋



C-010: 並杉橋



B-08: 長砂下水路



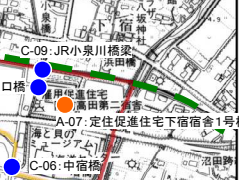
C-04: 最上堂橋



C-05: グランド橋



A-07: 定住促進住宅下宿舎1号棟



C-06: 中宿橋



C-05: グランド橋



A-01: 気仙中学校校舎



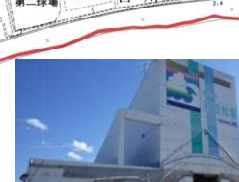
A-03: 旧道の駅(インフォメーションセンター)



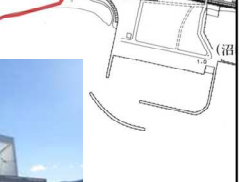
B-05: 照明塔



A-04: 旧道の駅(太鼓館)



A-03: 旧道の駅(インフォメーションセンター)



A-02: 陸前高田ユースホステル



C-04: 最上堂橋



C-01: しおさい橋



A-05: 旧道の駅(物産館)



B-06: 照明塔



A-06: 旧道の駅(公衆トイレ)



B-07: 野外ステージ



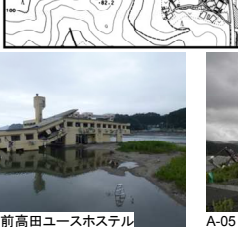
C-02: 松原大橋



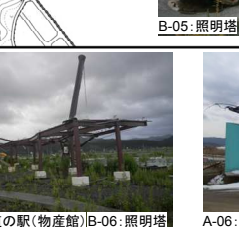
C-03: 古川橋



B-02: 奇跡の一本松



A-02: 陸前高田ユースホステル



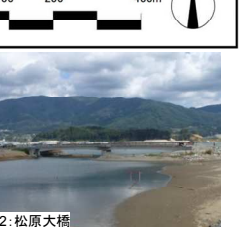
A-05: 旧道の駅(物産館)



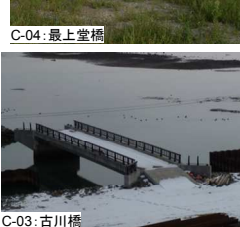
B-06: 照明塔



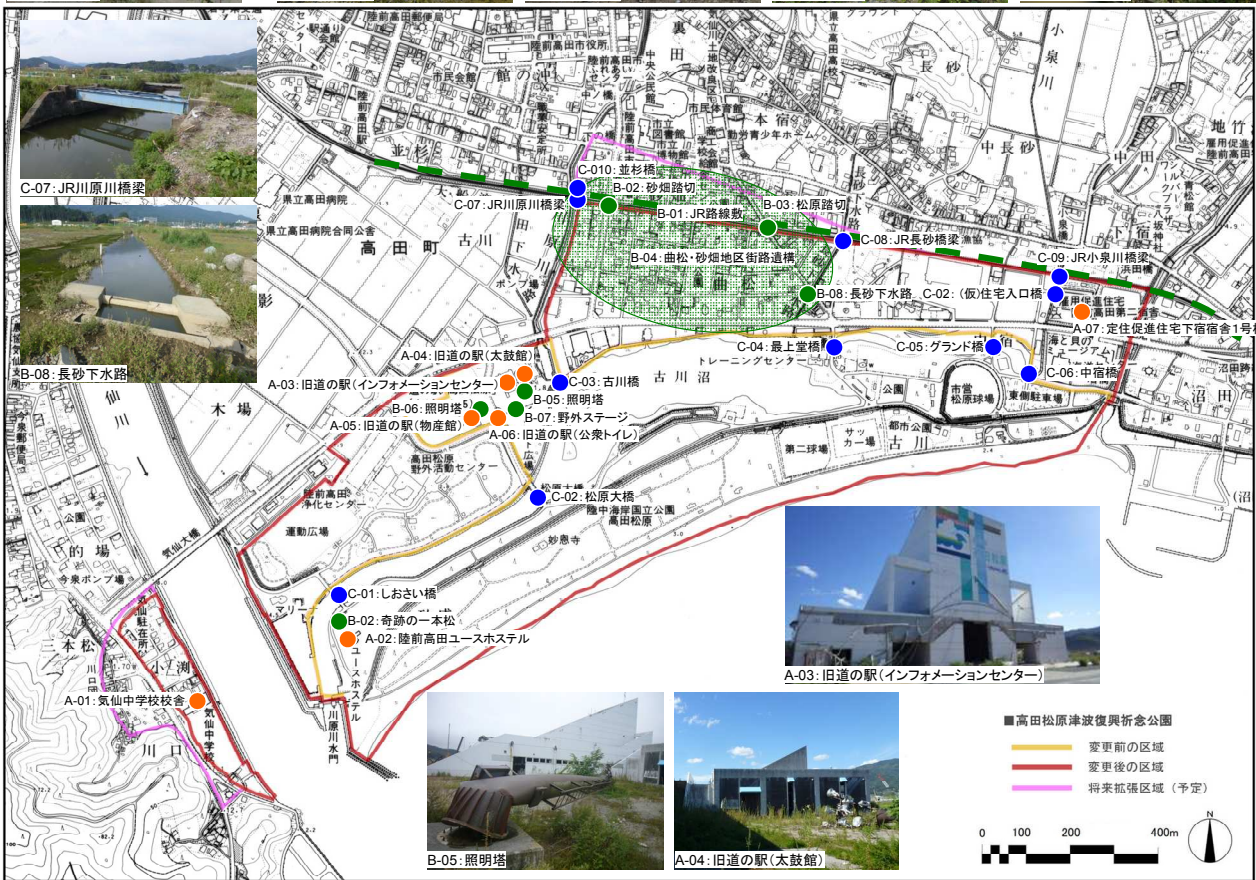
A-06: 旧道の駅(公衆トイレ)



B-07: 野外ステージ



C-03: 古川橋



注) ●A: 保存が検討されている建築物 ●B: 街割り等その他の遺構 ●C: 橋梁 を示す